

第4回大会

昭和58年 8月18～19日 / かずさカントリークラブ / 男子32校出場



逆転で、日大高V2

台風一過で、気温37度と猛暑の中での大熱戦となった。2連覇を狙う日大高（神奈川）が3年生を中心としたチーム構成で安定感を見せ、初日首位に立った。が、3年連続2位で悲願の初優勝を狙う平安（京都）が最終日に激しく追い上げ、一時は逆転するも、上がり3ホールで日大高が、素晴らしい逆転劇を見せ、V2を達成した。

①日大高 946 (476、470)

増田 健③232(115、117=37、39、41)
小松 徹③235(117、118=38、38、42)
大西 克彦③236(120、116=41、35、40)
泉 哲哉③243(124、119=40、40、39)
飯塚信太郎① (、120=43、47、40)

②平安 952 (480、472)

③PL学園 975 (498、477)

④明大中野 983 ⑧向 上 1035

⑤日体荏原 990 ⑨立 教 1036

⑥埼玉栄 993 ⑩近大付 1036

⑦愛 知 1001

※選手名の丸数字は学年

第5回大会

昭和59年 8月21～22日 / かずさカントリークラブ / 男子34校出場



平安悲願の全国初優勝

第1回3位、2回から3年連続2位とあと一步のところ、文部大臣旗を逃してきた平安（京都）が、ついに栄光を手にした。全員が3年生の平安は、北川を中心に初日2位に9打差を付け首位に立ち、最終日も他チームがスコアを崩す中、安定感を見せ、1・2年生主体で追い上げる日体荏原（東京）を振り切った。

①平安 949 (468、481)

北川 裕規③225(111、114=35、40、39)
若吉 勉③230(111、119=38、41、40)
吉田 誠③238(120、118=40、38、40)
岡部 正巳③259(129、130=41、50、39)
藤木 尊茂③264(126、138=41、48、49)

②日体荏原 958 (481、487)

③PL学園 967 (477、490)

④日大高 988 ⑧明大中野 1029

⑤瀬戸内 991 ⑨堀 越 1037

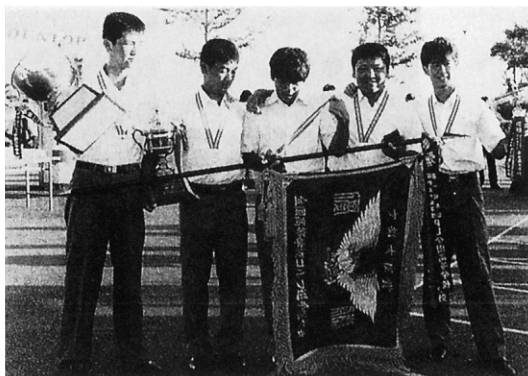
⑥埼玉栄 1001 ⑩札幌商 1039

⑦日大桜丘 1012

※選手名の丸数字は学年

第6回大会

昭和60年 8月20～21日 / かずさカントリークラブ / 男子34校出場



主将の伊沢利光を筆頭に、西川哲、丸山茂樹らトップジュニアを揃えた日体荏原（東京）が、従来の記録（54ホール）を15打も更新する驚異的なスコアで文句なしの初優勝を飾った。参考記録となる個人成績でも、ベスト10に3人が入るなど、圧倒的な強さを発揮し、前年2位の雪辱を果たしての初優勝となった。

①日体荏原 897 (455、442)

伊沢 利光③219(112、107=36、36、35)
丸山 茂樹①220(113、107=34、35、38)
西川 哲②225(112、113=39、36、38)
佐藤 英明②226(118、118=39、38、41)
三田村 弘③ - (119、--=-、--=-)
三代 健次②交代 115=40、37、38)

②PL学園 912 (461、451)

③埼玉栄 930 (465、465)

④愛 知 932 ⑧横 浜 951

⑤日大高 935 ⑨平 安 958

⑥明大中野 936 ⑩専大付 976

⑦瀬戸内 943

※選手名の丸数字は学年